

令和４年度第１回京都市明るい選挙推進協議会総会御意見等について

１ 令和４年度京都市明るい選挙推進事業計画について

（いただいた主な御意見）

- ・ 選挙年齢の引き下げに際し、若者の活発的な投票行為への働きかけなど具体的な対策がなされていて良いと思う。
- ・ 新有権者向けの啓発については、大学コンソーシアム京都も何らかの取組を検討しているかと思う。より密接な連携を模索してはいかがか。

（事務局回答）

大学コンソーシアム京都に確認をしましたが、現在、新有権者向けの啓発は特に検討していないとのことです。しかしながら、若者の政治参加意識の向上に向けて、大学コンソーシアム京都との連携は有効ですので、引き続き同法人との連携を深めてまいります。

２ 第２６回参議院議員通常選挙選挙時啓発事業一覧について

（いただいた主な御意見）

- ・ 学生団体への支援や YouTube バンパー広告など実際に目にしたが、大変効果的だと感じた。
- ・ 「分散投票」は、周知ポスターとして非常に良いテーマだと思う。今回が初めての取組か。

（事務局回答）

「分散投票」は、投票所のコロナ対策のひとつとして、昨年１０月の衆院選からリーフレットなどで周知していますが、衆院選で投票所に行列が発生したことを踏まえ、今年４月の知事選から期日周知ポスターでも周知することになっています。

ポスターのデザインは、コロナの感染状況なども考慮し、検討してまいります。

- ・ 新型コロナウイルスの水際対策の緩和も進んでおり、感染状況をみながら啓発活動の強化を図ってよいのでは。

（事務局回答）

ご指摘のとおり新型コロナウイルスに係る行動制限も緩和されてきております。引き続き感染状況を注視しつつ、街頭啓発の再開なども検討していきたいと考えております。